

# 取扱説明書

## ハイテンプオーブン

HT0-300S

HT0-450S

### 目 次

- P 1・・・表紙
- P 2・・・安全上のご注意
- P 3・・・製品設置時の注意事項
- P 4・・・操作運転時の注意事項
- P 5・・・保守点検とお手入れについて
- P 6・・・製品概要
- P 7・・・操作パネル説明
- P 8・・・基本操作フロー
- P 9・・・カレンダー設定方法
- P10・・・運転モード一覧
- P12・・・過昇防止温度設定方法
- P13・・・定値運転方法
- P14・・・時間タイマー運転方法
- P16・・・カレンダータイマー運転方法
- P18・・・プログラム運転方法
- P21・・・エラーメッセージと対応方法
- P22・・・トラブルの原因と対策
- P23・・・製品仕様
- P24・・・製品保証について







お買いあげありがとうございます。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。  
本製品をより安全に、また良好な状態でご使用いただくために『取扱説明書』を  
お読みになって、正しくお使い下さい。  
『取扱説明書』をお読みになった後は、お使いになられる方がいつでも見られる  
ところに大切に保管して下さい。また、製品を譲渡されたり、貸与されるときに  
は新しく使用者となられる方が安全で正しい使い方を知るために『取扱説明書』  
を製品本体の目立つところに添付して下さい。

## 安全上のご注意

この取扱説明書では製品を安全に正しくご使用いただき、事故や損害を未然に防ぐため、安全上特に注意すべき事項についての情報を、その重要度や危険度によって下記のような警告表示で定義しますので、これらの指示に従って安全にご使用いただくようお願い致します。

### 警告表示とその意味



 危険	誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる事が想定される場合。
 警告	誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う危険性が想定される場合。
 注意	誤った取扱いをすると、傷害を負う危険および物的損害のみの発生が想定される場合。
 お願い	安全を確保するために注意が必要な事項



### 安全確保の図記号

	製品の取扱において、一般的な注意、禁止事項を示す。		製品を分解および改造することで感電などの傷害が起こる可能性を示す。
	製品の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示す。		製品の特定部分に指を挟み込む可能性の注意を示す。
	特定の条件において、感電の可能性を示す。		特定の条件において、製品の転倒による傷害の可能性の注意を示す。
	安全アース端子付の製品の場合、使用者にアース線の接続の指示を示す。		特定の条件において、高温による傷害の可能性を示す。
	使用者に対し指示に基づく行為を強制する。		特定の条件において、破裂の可能性の注意を示す。

## 製品設置時の注意事項

安全にお使いいただくために下記事項をお守り下さい。

⚠ 危険	
 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●爆発性・引火性雰囲気中では使用しないで下さい。スイッチの入り切りの時に火花が発生し、火災の原因となります。</li> <li>●水平な場所に設置して下さい。思わぬトラブルや故障の原因となります。</li> <li>●本製品はマイクロコンピューターを使用しています。電氣的なノイズの多い場所では温度調節器が暴走して制御不能となり、大きな事故や故障の原因となります。</li> <li>●設置の際は必ず定格電源電圧、周波数、容量に合ったコンセントを使用してください。分岐ソケットやテーブルタップは使用しないで下さい。火災や感電事故の原因となります。</li> <li>●<b>本製品は研究用途向けの商品です。</b> 絶対に調理や衣類の乾燥等には使わないで下さい。思わぬ事故の原因となります。</li> </ul>
 アース線接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>●この製品の電源電圧はAC100Vです。電源電圧が異なると、火災や故障の原因となります。</li> <li>●感電防止のため、必ずアース線を接地して下さい。（アース端子付きコンセントを使用して下さい）</li> </ul>

⚠ 注意	
 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本製品は室内使用を前提に作られています。屋外や水のかかる場所では使用しないで下さい。</li> <li>●周囲温度が5～35℃以内の場所に設置して下さい。異常に多湿な環境には設置しないで下さい。</li> <li>●直射日光や暖房器具の近くでは使用しないで下さい。十分に能力を発揮できなくなる他、故障の原因となります。</li> </ul>
 強制事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●埃が少なく、風通しの良い場所に設置して下さい。また、使用時は室内の換気を定期的に行って下さい。</li> <li>●製品の性能を維持するために製品の左右は約30cm、天井からは約60cm以上のすき間を空けて下さい。</li> <li>●専門知識を有する人の指示のもとにお使い下さい。</li> </ul>

## 操作運転時の注意事項

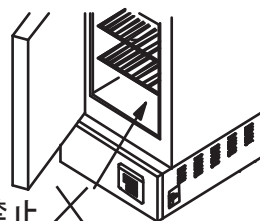
安全にお使いいただくために下記事項をお守り下さい。

### ⚠ 危険



禁止事項

- 有機溶剤などの引火性物質を入れないで下さい。運転中は庫内が高温になりますので庫内で気化し、引火・爆発する恐れのあるものは入れないで下さい。爆発性の物質としては、硝酸エステル、ニトロ化合物等、引火性の物質としては過酸化塩類、無機過酸化化物、硝酸塩類、有機溶剤等があります。
- 本製品はヒーターを使用しています。扉開放時にはヒーターや内槽には絶対に手を触れないで下さい。火傷の恐れがあります。
- 排気口や窓（窓付きタイプの場合）に手を触れないで下さい。設定温度によっては高温になることがあり、火傷の恐れがあります。
- 庫内底面には直接試料を置かないで下さい。庫内温度が異常に高くなったり、試料の焼損や火災の原因となります。



底板使用禁止

- 扉を開けた状態では絶対に運転しないで下さい。温度調節機能が働かなくなり、火災の原因となります。
- 試料を多量に入れないで下さい。火災の原因となります。試料をおく場合はスペースを空け、分散させて対流が妨げられないようにして下さい。
- 可燃性物質は使用しないでください。樹脂等可燃物を乾燥させた場合に、設定温度によっては溶解し、発火する恐れがあります。

### ⚠ 注意

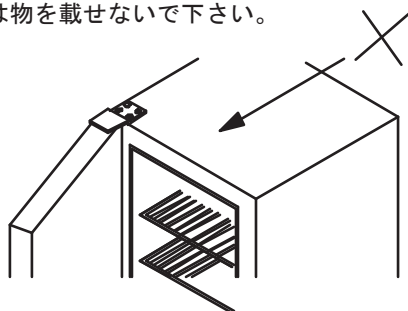


禁止事項

- 腐食性の試料にはご注意下さい。庫内主要部にはSUS304を使用していますが、強酸等には腐食される恐れがあります。また、パッキンはアルカリ、オイル、ハロゲン系溶剤に腐食されることがありますのでご注意下さい。
- 濡れた試料はそのまま庫内に入れないで下さい。水気をしっかりと切ってから庫内に入れて下さい。また、その場合は排気口は必ず開けて下さい。



- 本体上面には物を載せないで下さい。



## ⚠ 注意



### 強制事項

- 本製品はヒーターを使用しております。扉を開けた状態でもヒーターは加熱状態にあるため、長時間の扉の開放や頻繁な開閉はできるだけ避けて下さい。閉めたあとにヒーターの余熱によるオーバーシュートの原因となります。  
このようなオーバーシュートを避けるためには扉開放時にRUN/STOPキーで運転を停止し、ヒーターを切ると効果があります。

- 本製品を最初にご使用される際に内槽が変色している場合がありますが、これは加熱により内槽の金属が変色したもので、製品の異常ではありません。
- 本製品付属のステンレス製棚板は新品を入れております。初回運転時に設定温度によっては熱で変色することがありますが、高温により表面が酸化したものであり、異常ではありません。
- 本製品を最初にご使用される際には庫内から煙・においが発生することがあります。これは製品に使用している断熱材のバインダーが加熱されたために発生するもので、製品の異常ではありません。

## 保守点検とお手入れについて

## ⚠ 危険



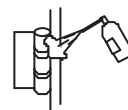
### 分解禁止

- 製品が熱い間は、清掃・手入れはしないで下さい。必ず冷却後に行ってください。
- 分解・改造は絶対にしないで下さい。感電や破損の原因となります。



### 強制事項

- お手入れは主電源を切った後、電源コードを抜いてから行って下さい。
- 可動部分は定期的に市販の潤滑スプレー等で注油して下さい。  
ボルトやねじによるガタツキが生じた場合は締め直して下さい。  
ゆるんだままですると破損や転倒の恐れがあります。



## ⚠ 注意



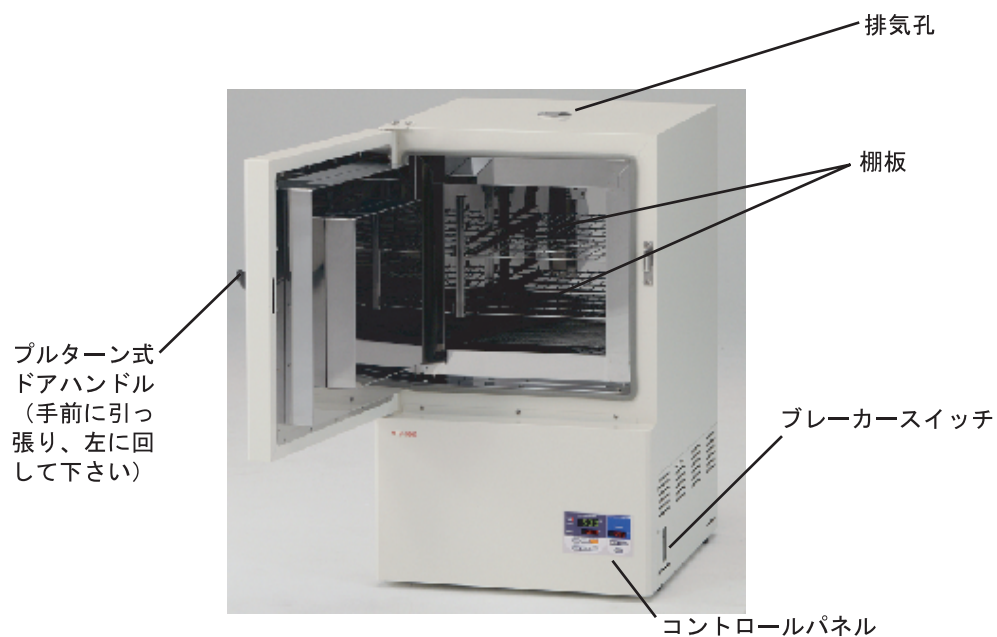
### 強制事項

- 作業が終了したら必ず清掃を行ってください。製品についた試料や薬品は必ず拭き取ってください。
- 拭き取りは硬く絞った柔らかい布で拭いて下さい。また、取れにくい汚れは中性洗剤を使用し、乾いた布で拭き取ってください。

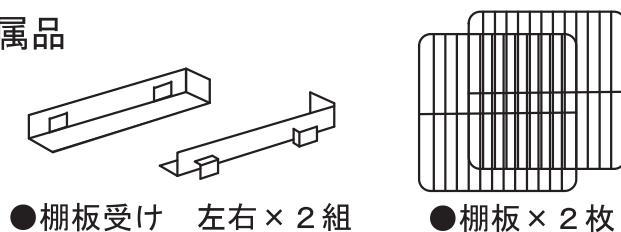
## 製品概要

### ■製品全体図

ハイテンプオープン（自然対流式）



### ■ 付属品



注意

本製品付属の棚板はステンレス製です。設定温度および積載荷重によっては熱影響により軟化・変形することがあります。常温状態で試料を載せた時、棚板が撓む場合は荷重を分散したり、棚板を2枚重ねて使うなどして、棚板変形に注意してご使用下さい。

### ■オプション

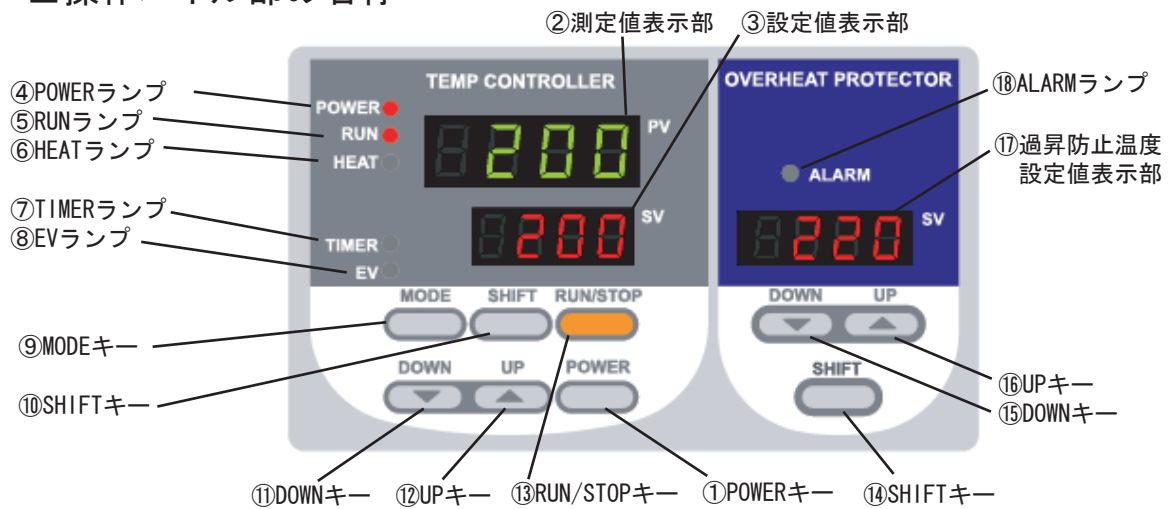
棚板セット（棚板1枚＋棚板受け左右1組）

対応機種	型番	品番
HT0-300S	TAS300	1-8999-11
HT0-450S	THS450	1-8999-22

※上記以外の棚板は使用しないでください。

## 操作パネル説明

### ■ 操作パネル部の名称



### ■ 各部の機能

NO.	名称	機能	本文表記
①	POWERキー	コントローラのON/OFFを行います。	—
②	測定値表示部 (PV)	現在の庫内温度を表示します。(パワー-OFF時は曜日表示) パラメータ設定時は機能設定の表示をします。	<p>↑ 曜日時刻表示時 ↑ 温度表示時 ↑ パラメータ表示時</p>
③	設定値表示部 (SV)	設定温度/設定時間を表示します。(パワー-OFF時は時刻表示) パラメータ設定時は設定数値を表示します。 時間表示の時、1.02 は1時(間)02分を表します。	
④	POWERランプ	コントローラ-ON時に点灯。	
⑤	RUNランプ	RUNモード時に点灯。(一時停止中は点滅)	
⑥	HEATランプ	ヒーター通電時に点灯。	HEAT●
⑦	TIMERランプ	タイマー運転時に点灯。	TIMER●
⑧	EVランプ	使用せず。	EV●
⑨	MODEキー	設定モードに移行する時に使用。	
⑩	SHIFTキー	設定値の設定桁を変更。	
⑪	DOWNキー	設定値を下げます。	
⑫	UPキー	設定値を上げます。	
⑬	RUN/STOPキー	運転の開始/停止/一時停止を行います。	
⑭	SHIFTキー	設定値の設定桁を変更。	
⑮	DOWNキー	設定値を下げます。	
⑯	UPキー	設定値を上げます。	
⑰	過昇防止温度 設定値表示部 (SV)	過昇防止の設定温度を表示します。	190
⑱	ALARMランプ	庫内温度が設定した温度まで上昇した際に点灯し、 ヒーター出力を切ります。	ALARM●

## 基本操作フロー

### ●電源OFFモード

・ブレーカースイッチを入れた状態で、POWERキーOFF状態です。

POWERキー: レディーモードに移行

MODEキー: 2秒間押すとカレンダー設定モードに移行

SHIFTキー: 無効

UP/DOWNキー: 無効

RUN/STOPキー: 無効

POWER ○  
RUN ○  
HEAT ○

Fr1 現在曜日を表示  
(カレンダー設定前はSun表示)

TIMER ○  
EV ○

12:00 現在時刻を表示  
(カレンダー設定前は00:00表示)

←  
→  
MODEキー  
2秒押し

### ●カレンダー設定モード

・カレンダー設定を行うモードです。

POWERキー:

MODEキー: カレンダー設定項目変更(曜日⇄時刻)  
(2秒間押すと電源OFFモードに移行)

SHIFTキー: 設定値の設定桁を変更(右→左)

UP/DOWNキー: 設定値を上げる/下げる。

RUN/STOPキー:

POWER ○  
RUN ○  
HEAT ○

Sun 曜日設定表示

TIMER ○  
EV ○

0:00 時刻設定表示

↓↑ POWERキー

### ●レディーモード

・運転停止中のモードです。

POWERキー: 電源OFFモードに移行

MODEキー: タイマー/プログラム設定モードに移行

SHIFTキー: 押している間、現在曜日を表示

UP/DOWNキー: 無効

RUN/STOPキー: 運転モードに移行

POWER ●  
RUN ○  
HEAT ○

30 測定温度を表示

TIMER ○  
EV ○

12:00 現在時刻を表示

←  
→  
MODEキー

### ●タイマー/プログラム設定モード

・タイマー/プログラム運転の各種設定が出来ます。

POWERキー: 電源OFFモードに移行

MODEキー: 温度設定モードに移行

SHIFTキー: 運転種類選択画面に移行

UP/DOWNキー: 運転種類選択

RUN/STOPキー: 無効

POWER ●  
RUN ○  
HEAT ○

Prf

TIMER ○  
EV ○

F111

↓↑ RUN/STOPキー

### ●運転モード

・運転中のモードです。

POWERキー: 電源OFFモードに移行

MODEキー: タイマー/プログラム設定モードに移行

SHIFTキー: 運転情報確認画面に移行

UP/DOWNキー: 無効

RUN/STOPキー: 運転停止、レディーモードに移行

SHIFTキー+RUN/STOPキー: 一時停止モードに移行

POWER ●  
RUN ●  
HEAT ○

60 測定温度を表示

TIMER ○  
EV ○

100 設定温度を表示

\* SHIFTキーによる運転情報確認

・定値運転時

運転中表示 現在時刻表示  
100 → Fr1  
100 → 12:00

・時間タイマー運転時

運転中表示 ON時間設定表示 OFF時間設定表示 OFF時間残時間 現在時刻表示  
100 → on-H → of-H → rEst → Fr1  
100 → 300 → 1000 → 059 → 1200

・カレンダータイマー運転時

運転中表示 ON曜日設定表示 ON時刻設定表示 OFF曜日設定表示 OFF時刻設定表示 現在時刻表示  
100 → on-Sun → on-t → of-Sun → of-t → Fr1  
100 → 5 → 1000 → 1600 → 1200

・プログラム運転時

運転中表示 パターン/ステップ表示 ステップ設定表示 ステップ残時間表示 現在時刻表示  
100 → P-1 → 150 → rEst → Fr1  
100 → 5-1 → 130 → 059 → 1200

### ●一時停止モード

・タイマー/プログラム一時停止中のモードです。

(温度制御は継続、時間カウントのみ停止)

POWERキー: 電源OFFモードに移行

MODEキー: タイマー/プログラム設定モードに移行

SHIFTキー: 運転情報確認画面に移行

UP/DOWNキー: 無効

DOWNキー2秒押しでステップ送り

RUN/STOPキー: 運転モードに移行

RUN/  
STOP  
キー  
←  
→  
SHIFT  
+  
RUN/  
STOP  
キー

POWER ●  
RUN ●  
HEAT ●

80 測定温度を表示

TIMER ○  
EV ○

100 停止中の設定温度を表示



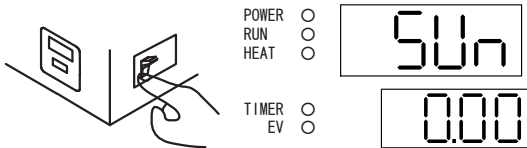
## カレンダー設定方法

SUN  
12.15

現在の曜日、時刻を設定します。

### ●曜日、時刻の設定方法

- ブレーカースイッチをONにして下さい。  
初期画面を表示後約4秒でPOWER OFFモードに入ります。



MODE キー 2秒長押し

- カレンダー設定モードに入ります。  
(曜日表示が点滅)

SUN  
0.00

MODE キー

- UP、DOWNキーを押して曜日を設定します。  
(月曜日に設定)

日曜日 月曜日 火曜日 水曜日 木曜日  
SUN Mon TUE WED THU  
金曜日 土曜日 毎日  
Fri SAT ---

Mon  
0.00

MODE キー

- SHIFTキーを押して時刻設定モードに入ります。  
(時間表示の1桁目が点滅)

Mon  
00.00

- UP、DOWNキー及びSHIFTキー（桁移動）を用いて時刻を設定します。(12時15分に設定)  
設定時刻範囲：0.00(0時0分)～23.59(23時59分)

Mon  
12.15

MODE キー

- POWER OFFモードに戻ります。  
(POWERキーを押すとレディーモードに入ります)

Mon  
12.15

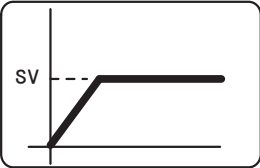
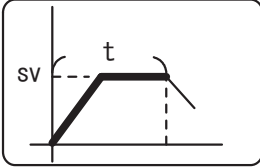
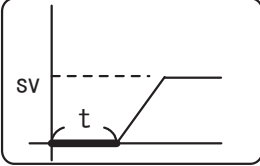
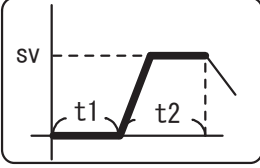
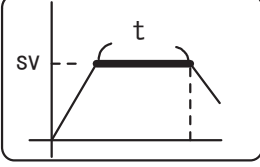


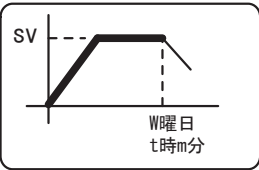
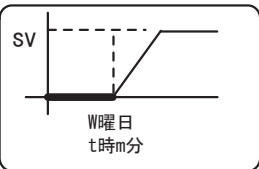
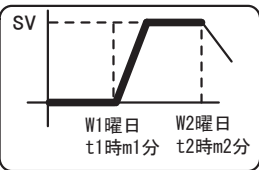
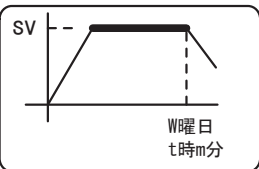
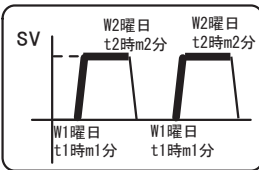
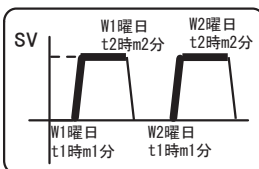
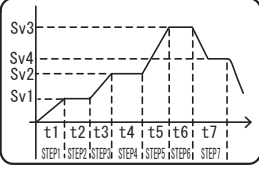
本器にはカレンダー保持用の電池は内蔵されておりません。ブレーカースイッチが切られると約24時間で設定されたカレンダーがリセットされてしまいます。出来る限りブレーカースイッチは切らずにPOWERキーによる電源ON/OFFをお願いします。

## 運転モード一覧

本器では以下の運転モードが選べます。用途により使い分けてください。

- (1) 連続運転・・・運転を手動でRUN/STOPするモードです。
- (2) 時間タイマー運転・・・何時間後にRUN/STOPするかを設定出来ます。
- (3) カレンダタイマー運転・・・何曜日の何時にRUN/STOPするかを設定出来ます。
- (4) プログラム運転・・・昇温時間、保持時間を合計16ステップ、8パターンまで設定出来ます。

運転モード		温調の様子（グラフ）	説明
(1) 連続運転 設定温度で連続運転			
(2) 時間 タイマー 運転	①OFFタイマー 終了までの時間を設定。		* 運転開始から t 時間後に 温調を終了。そのまま自然冷却。
	②ONタイマー 温調を開始する までの時間を設定。		* 運転開始から t 時間後にヒータ ON。
	③ON/OFF タイマー 温調開始までの 時間t1と終了迄 の時間t2を設定。		* 運転開始から t1 時間後にヒータ ON、その後 t2 時間後にヒータ OFF。
	④SVスタート 設定温度到達時 にタイマースタ ート。		* 運転開始の後、設定温度に到達 時からタイマースタート、t 時間 後にOFF。

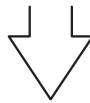
運転モード	温調の様子（グラフ）	説明
(3) カレンダー タイマー 運転	<b>①OFFタイマー</b> 終了曜日・時刻を設定。 	* 運転開始後、W曜日t時m分に温調終了。
	<b>②ONタイマー</b> 温調を開始する曜日・時刻を設定。 	* 運転開始後、W曜日t時m分に温調スタート。
	<b>③ON/OFFタイマー</b> 温調開始の曜日・時刻と終了曜日・時刻を設定。 	* 運転開始後、W1曜日t1時m1分に温調スタート、W2曜日t2時m2分に温調終了。
	<b>④SVスタート</b> 設定温度到達時にタイマースタート、設定曜日・時刻に終了。 	* 運転開始後、設定温度Svに到達時温調スタート、W曜日t時m分に温調終了。
	<b>⑤毎週ON/OFFタイマー</b> 温調開始の曜日・時刻と終了曜日・時刻、リピートを設定。 	* 運転開始後、毎週W1曜日t1時m1分に温調スタート、W2曜日t2時m2分に温調終了。
	<b>⑥毎日ON/OFFタイマー</b> 温調開始の時刻と終了時刻、リピートを設定。 	* 運転開始後、毎日t1時m1分に温調スタート、t2時m2分に温調終了。
(4) プログラム運転 昇温時間、保持時間、設定温度を各ステップ毎に設定。		* Sv1までt1時間で昇温、Sv1でt2時間保持、Sv1からSv2へt3時間で昇温・・・

## 独立過昇防止設定方法

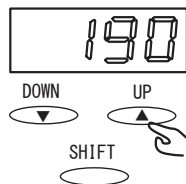


本製品をご使用の際には万一の温度過昇による試料の破損・事故を防止するために、必ず独立過昇防止温度を設定した上でご使用下さい。

- ブレーカーをONにした後、POWERキーを押し、レディーモードに入ります。



- 過昇防止部のDOWN・UPキー、SHIFTキーを用いて過昇防止の作動温度を設定して下さい。  
一定時間キー操作がないと、その値で設定されます。



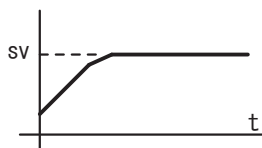
以上で過昇防止の設定は完了です。



- ・乾燥器の特性上、設定温度でヒーターが切れてもヒーターの予熱により、庫内が設定温度以上に上がる可能性があります。（オーバーシュート）試料保護を目的とされる場合は必ず事前に作動温度及びオーバーシュート量を確認の上、ご使用ください。
- ・過昇防止温度の設定に際しては、以上の特性をご理解のうえ、ある程度余裕を持った温度に設定してください。  
→余裕が少ない場合には、わずかなオーバーシュートやハンチング等によっても過昇防止が作動し、適切に使用できません。

## 定値運転方法

### ●定値運転



設定温度まで昇温し、そのまま保持します。

### ●定値運転方法

- ブレーカーをONにした後、POWERキーをONにし、レディーモードに入ります。

POWER ●  
RUN ○  
HEAT ○

TIMER ○  
EV ○

23

1200

MODE キー

- 運転選択画面に入ります。

P r F

F I I I

SHIFT



MODE

- SHIFTキーで設定モードに入り(運転表示点滅)、UP/DOWNキーを使ってノーマル運転に設定し、MODEキーで決定して下さい。

P r F

F I I I

F I I I ノーマル運転  
t n r 時間タイマー運転  
t i n カレンダータイマー運転  
P r G プログラム運転

MODE キー

- 温度設定画面に入ります。

S u

0030

SHIFT



MODE

- SHIFTキーで設定モードに入り(温度表示1桁目点滅)、UP/DOWNキー及びSHIFTキー(桁移動)を用いて温度の設定を行い、MODEキーで決定して下さい。

S u

0030

▼ ▲

MODE キー

- レディーモードに戻ります。  
RUN/STOPキーを押すと運転を開始します。  
(運転中はRUNランプが点灯し、ヒーター通電中はHEATランプが点灯します。)

POWER ●  
RUN ●  
HEAT ●

TIMER ○  
EV ○

25

110

## 時間タイマー運転方法(1)



お願い

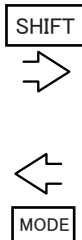
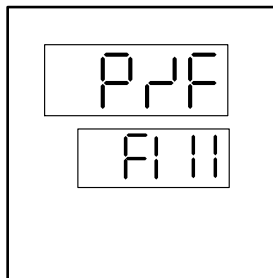
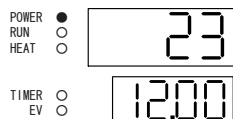
\* 誤操作、設定ミスを避けるために、試料を入れない状態で、低い温度、短い時間での試運転を行ってください。その際、温調がSTARTするか、またはOFFになるか、を必ず確認してください。

### ●タイマー種類

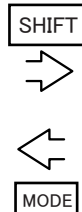
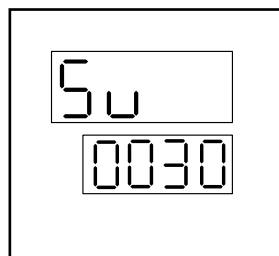
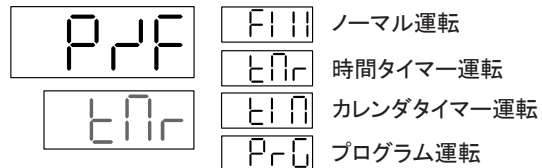
本製品は4種類のタイマー運転をすることができます。(10ページ参照)

### ●タイマー運転方法

- ブレーカーをONIにした後、POWERキーをONIにし、レディーモードに入ります。



- SHIFTキーで設定モードに入り(運転表示点滅)、UP/DOWNキーを使って時間タイマー運転に設定し、MODEキーで決定して下さい。



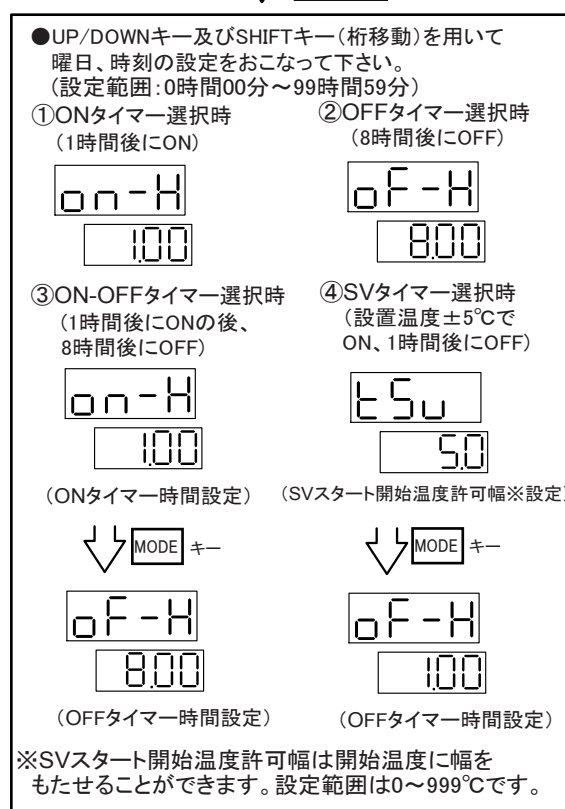
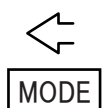
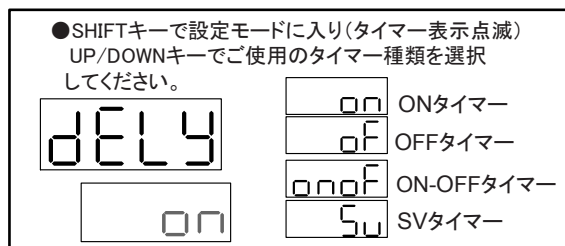
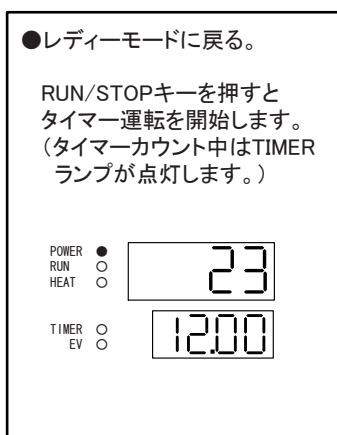
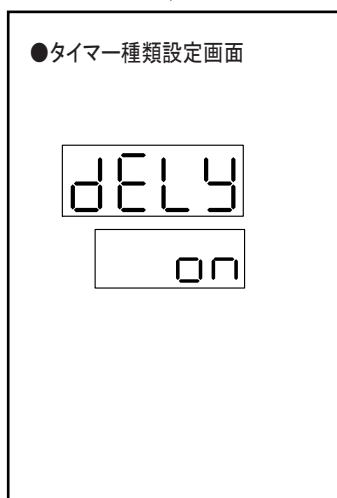
- SHIFTキーで設定モードに入り(温度表示1桁目点滅)、UP/DOWNキー及びSHIFTキー(桁移動)を用いて温度の設定を行い、MODEキーで決定して下さい。



次ページへ

## 時間タイマー運転方法(2)

前ページより

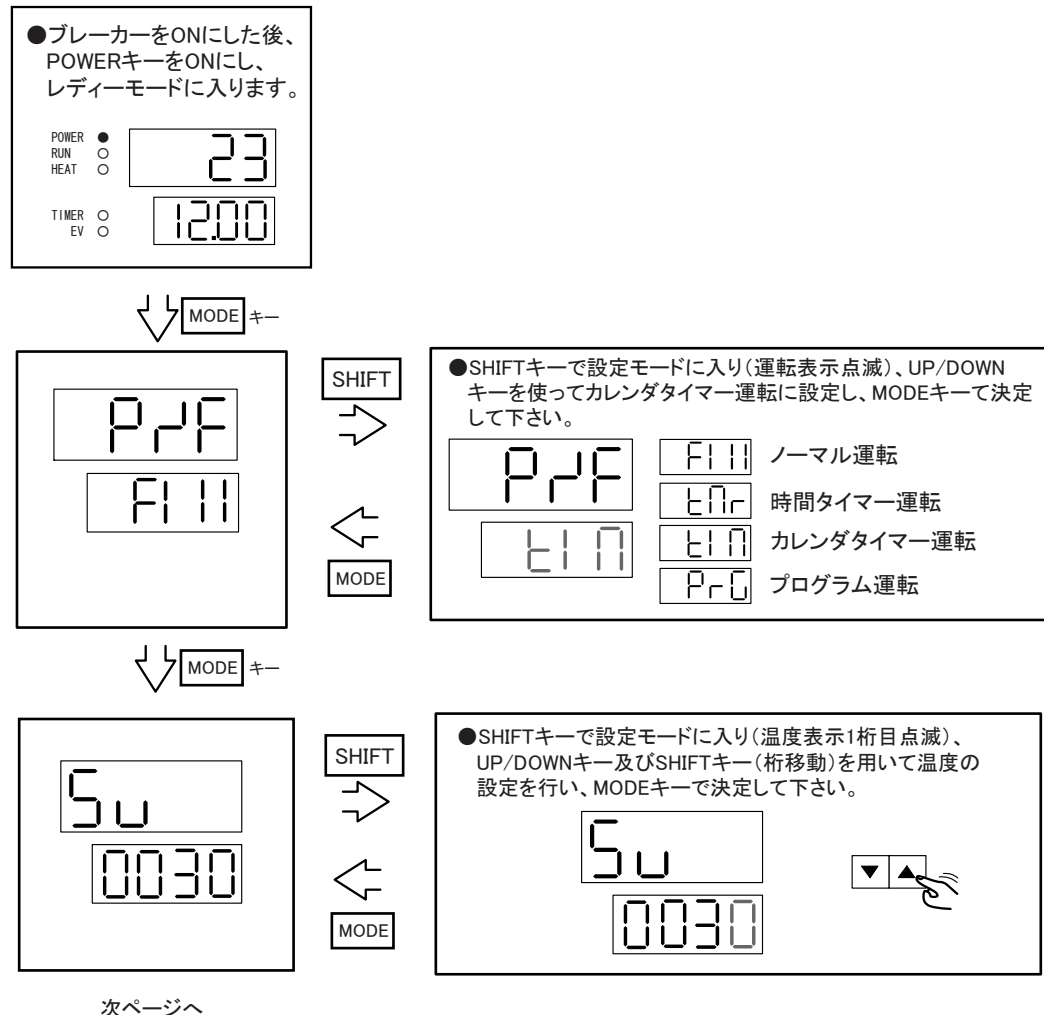


## カレンダータイマー運転方法(1)

### ●タイマー種類

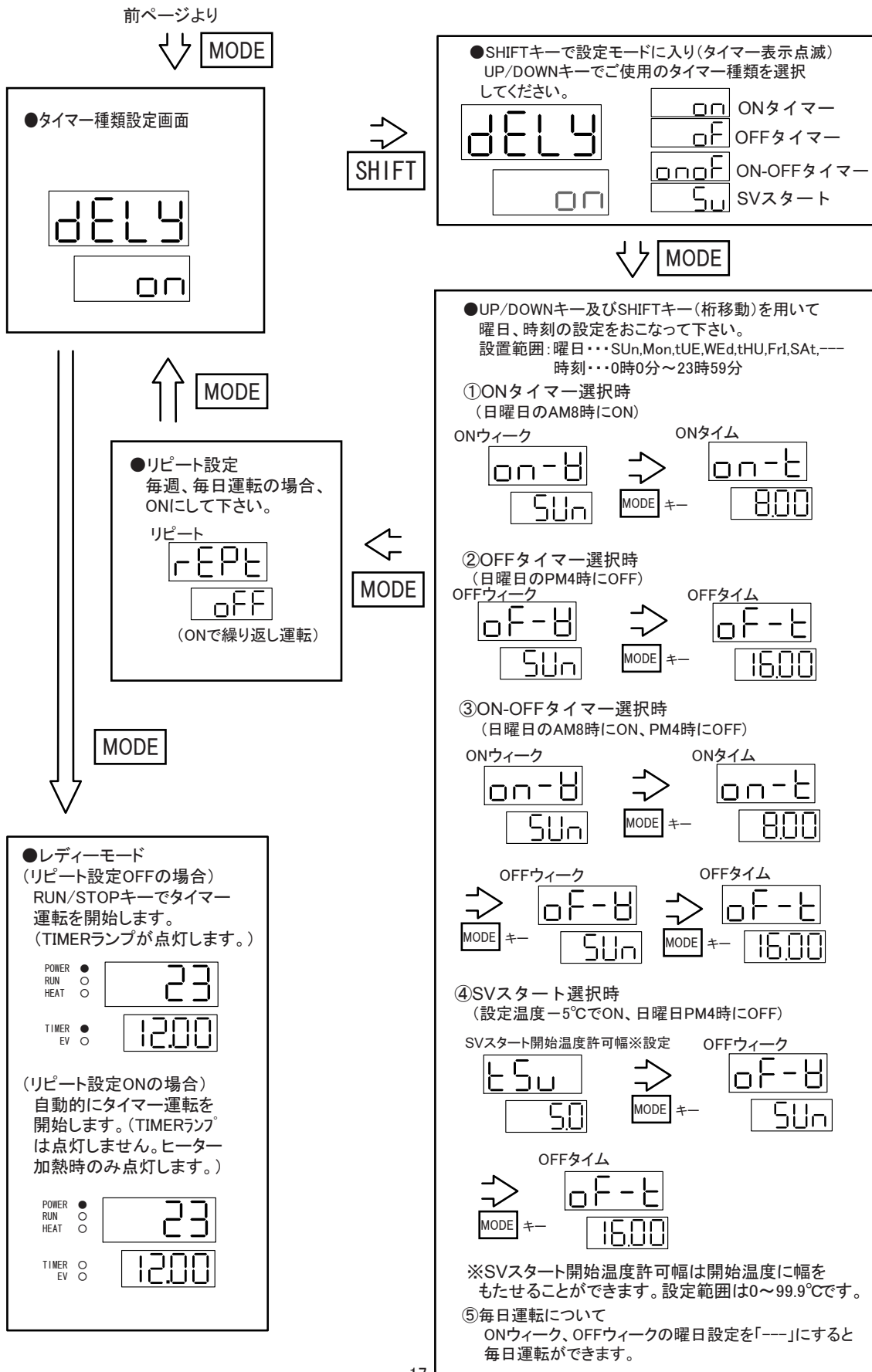
カレンダータイマーの4種類に加え、毎日運転、毎週運転ができます。(11ページ参照)

### ●カレンダータイマー運転方法



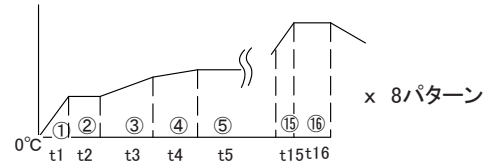


## カレンダータイマー運転方法(2)

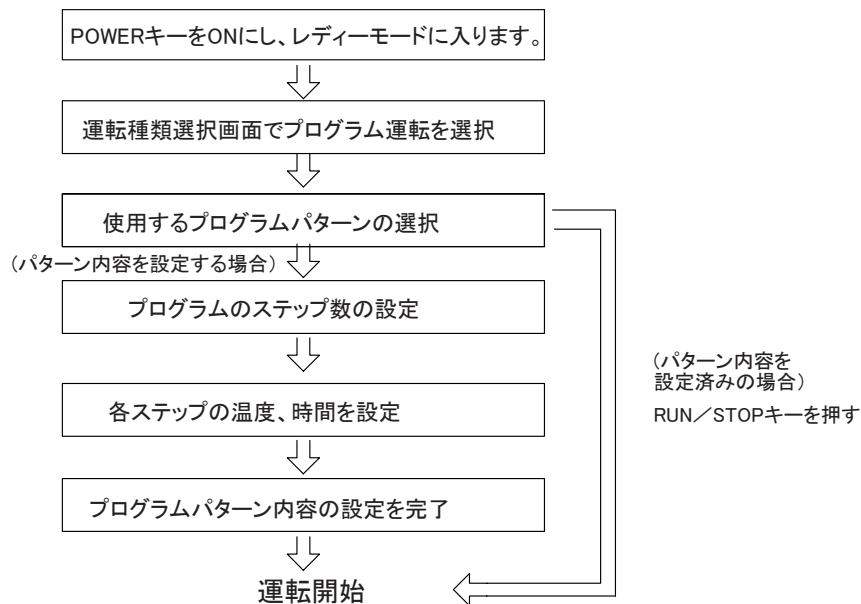


## プログラム運転方法(1)

\* 本製品は最大16ステップのプログラムを8パターン記憶し、必要なパターンを選択しプログラム運転することができます。各ステップは設定時間内の温度上昇及び、一定温度での制御に割り当てることができます。



### ●プログラム運転の流れ



### ■ プログラム運転に関する注意事項

正常なプログラム運転を行うために、以下の点にご注意ください

- 昇温ステップの時間設定によっては5°C程度のオーバーシュートが発生する可能性がありますのでご注意ください。
- 本製品は、設定時間が短いために目標温度まで時間内に達しない場合、次のステップに進みます。設定時間は温度上昇能力を考慮の上、設定してください。  
(性能表の最高温度到達時間は25°C→最高温度の最短昇温時間です。これより速くは昇温出来ません。また、降温時の最短降温時間は最短昇温時間の約1.7倍を見て下さい。)※

※庫内の対象物によって性能は変化します。

## プログラム運転方法(2)

### ■プログラム設定例

スタート→50分かけて①170℃まで上昇→②170℃を30分キープ→③100℃まで1時間40分かけて下降→④100℃にて2時間30分キープをプログラムパターン2として記憶・運転する場合。

- ブレーカーをONにした後、POWERキーをONにし、レディーモードに入ります。

POWER ●  
RUN ○  
HEAT ○

TIMER ○  
EV ○

23  
12.00

MODE キー

- 運転種類選択画面に入ります。

P r F  
P r O

SHIFT



MODE

- SHIFTキーで設定モードに入り(運転表示点滅)、UP/DOWNキーを使ってプログラム運転に設定し、MODEキーで決定して下さい。

P r F	F I L L	ノーマル運転
P r O	t i m e	時間タイマー運転
	c a l e n d a r	カレンダータイマー運転
	P r O	プログラム運転

MODE キー

- パターン選択画面に入ります。

P A T t  
2

SHIFT



MODE

- SHIFTキーで設定モードに入り(運転表示点滅)、UP/DOWNキーを使ってパターンナンバーを設定し、MODEキーで決定して下さい。(パターンナンバー1～8)

P A T t  
2

MODE キー

- ステップ数設定モードに入り、UP/DOWNキーでステップ数を設定して下さい。

S t e p  
4

次ページへ

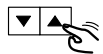
## プログラム運転方法(3)

前ページより



⑤ステップ1の設定温度を入力してください。

5u 1  
0170



(170°Cまで上昇)



⑥ステップ1の設定時間を入力してください。

t 1  
00.00



t 1  
0.50

(50分)



⑦ステップ2の設定温度を入力してください。

5u 2  
0170



(170°Cでキープ)



⑧ステップ2の設定時間を入力してください。

t 2  
0.30

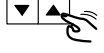


(30分)



⑨ステップ3の設定温度を入力してください。

5u 3  
0100



(100°Cまで下降)



⑩ステップ3の設定時間を入力してください。

t 3  
1.40



(1時間40分)



⑪ステップ4の設定温度を入力してください。

5u 4  
0100



(100°Cでキープ)

右上へ

左下より



⑫ステップ4の設定時間を入力してください。

t 4  
2.30



(2時間30分)



⑬設定したパターンの繰り返し実行回数を設定してください。

rUn  
1



※設定範囲は0~99回です。  
0を選択するとパターンを無限に繰り返します。



⑭終了時の動作を設定してください。

End  
0



0 運転停止

1 最終ステップの  
設定温度で連続運転



⑮ステップ数設定モードに戻ります。再度、ステップ数を確認してください。(ここでステップ数を変更すると⑤から入力のやり直しとなります。)

STEP  
4



⑯レディーモードに戻ります。

RUN/STOPキーを押すとプログラム運転を開始します。  
(プログラム運転中の進行確認はP8を参照下さい)

POWER ●  
RUN ○  
HEAT ○

23

TIMER ○  
EV ○

12.00

## エラーメッセージと対応方法

表示	エラー名	内容	復帰方法
Err0 [ ]	メモリーエラー	電源投入時に記憶素子から読み込まれるデータが異常な場合に発生し、運転停止、全出力OFFとなります。	基板の修理が必要です。
Err1 [ ]	A/D回路エラー	温度入力回路に異常が生じた場合に発生し、運転停止、全出力OFFとなります。	基板の修理が必要です。
Err2 [ ]	オートチューニングエラー	オートチューニング中に温度センサ断線または3時間以上経過後も終了しない場合に発生し、運転停止、全出力OFFとなります。	何れかのキーを押して下さい。
[ ] [ ]	温度入力オーバー	温度入力が表示範囲上限を超えたり、センサ断線の場合に発生し、運転停止、イベント出力以外の出力OFFとなります。	表示範囲内に戻ると自動復帰します。
[ ] [ ]	温度入力アンダー	温度入力が表示範囲下限を下回ったり、Ptセンサが短絡の場合に発生し、運転停止、イベント以外の出力OFFとなります。	表示範囲内に戻ると自動復帰します。
[ ] LoL	パラメータロック	工場出荷時の初期設定値の中で、変更できない項目を変更しようとした場合に発生します。	一度電源を切り、再度電源を投入して下さい。
[ ] nL	入力禁止	運転中に変更禁止されている設定値を変更しようとした場合に発生します。	

## トラブルの原因と対策

?

以下に示すようなトラブルが発生した場合の原因として次のような事項が考えられますので対策欄を参考に操作、対処をお願いします。

尚、以下原因欄には考えられるおおよその原因事項を挙げてありますが、これらがすべての原因を示しているわけではありません。対策欄の操作では対処できない場合はすぐに運転を中止し購入された販売代理店までご相談下さい。

設定温度で安定しない。	原因：庫内に物を詰め込みすぎている。 対策→空気の流れがよくなるよう、間隔をあけて試料を配置して下さい。
	原因：センサーが温度を正確に測定していない。 対策→試料はセンサーから離しておいて下さい。
	原因：扉の開閉時間が長い、頻度が高い。 対策→出来るだけ開閉時間は短く、頻度も少なくして下さい。
タイマー運転できない。	原因：誤ったタイマー設定をしている。 対策→一度電源を切り、タイマー設定をやりなおして下さい。
	原因：設定どおりに動作しない。 対策→タイマーの時間、分や、設定温度、を再度確認して下さい。
温度上昇しない。	原因：ヒーターが断線している。 対策→購入された販売代理店、もしくは当社カスタマー相談センターまでご相談ください。
	原因：独立過昇温防止装置が作動している。 対策→一度電源を切り、温度が十分下がったことを確認の上、庫内状況など異常が無いことを確認ください。 復帰するには電源を再投入して下さい。
電源が入らない。	原因：電気が来ていない。 対策→元電源を確認してください。0Aタップ使用の場合はそのブレーカーも確認してください。

## 製品仕様

製品名		ハイテンプオープン	
型式		HTO-300S	HTO-450S
性能	対流方式	自然対流式	
	使用周囲温度	5～35℃	
	設定温度範囲	室温+50～650℃	
	* 温度分布幅	16℃（650℃設定時）	
	最高温度到達時間	約120分	
構成機器	温度制御方式	マイコン式3段PID制御、SSR出力	
	温度センサ	K 熱電対	
	温度設定表示	デジタル設定・表示	
	タイマー機能	時刻・時間設定式オートスタート、オートストップ、SVスタート、ON/OFFタイマー	
	プログラム機能	最大16ステップ8パターンの温度勾配プログラム	
	ヒーター (kW)	インコイシズ <sup>®</sup> ヒーター1.3kW	インコイシズ <sup>®</sup> ヒーター1.8kW
安全装置		デジタル温度設定式独立過熱防止装置、パースアウト機構（センサ断線時ヒーターOFF）、過電流ブレーカー	
外形寸法 (W×D×H) (mm)		510×597×820	660×707×970
内寸法 (W×D×H) (mm)		300×337×300	450×450×450
重量 (Kg)		約45kg	約70kg
電源		AC100V、50/60Hz 3Pプラグ	AC100V、50/60Hz 丸端子接続（プラグ無）
排気口 (mm)		φ30×1個	
内装材質		ステンレス（SUS430）	
外装材質		スチールメラミン焼付け塗装	
付属品		棚板2枚、棚板受け4個	

\* 当社測定法による庫内無負荷時の値です。

## 製品保証について

### 保証書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に右記保証規定（１）に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

品名	ハイテンプオープン		
型式	HTO-300S, 450S		
機番			
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お買い上げ日	年	月	日
お客様	様		
ご住所	TEL：		
取り扱い店名	担当者印		
住所	TEL：		

**アズワン株式会社**

#### 〈保証規定〉

- (1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。
- (2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
  - ・ 誤使用、不当な修理・改造による故障。
  - ・ 本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
  - ・ 火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
  - ・ 接続している他の機器が原因による故障。
  - ・ 車両・船舶等での使用による故障。
  - ・ 消耗部品、付属部品の交換。
  - ・ 本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。
- (3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。
- (4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

## アズワン株式会社

#### ■商品についてのお問い合わせは

##### カスタマー相談センター

フリーダイヤル  0120-700-875

FAX 0120-700-763

問い合わせ  
専用URL

<http://help.as-1.co.jp/q>

#### ■修理・校正についてのお問い合わせは

##### テクニカルセンター

フリーダイヤル  0120-788-535

FAX 0120-788-763

問い合わせ  
専用E-mail

[repair@so.as-1.co.jp](mailto:repair@so.as-1.co.jp)

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時30分  
土・日・祝日及び弊社休業日はご利用できません。

2015年8月 第4版